

# 大阪府コロナワクチン接種センターの予約状況

フリップ①

◆65歳以上を対象に開始した大阪府コロナワクチン接種センターの予約率は7% (6月17日 10時現在)

◆接種可能数を最大限活用するため、6月18日から接種券が届いているすべての府民の皆様を対象に予約を開始

	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	計
予約枠	1,000	1,000	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	14,000
予約数	318	114	145	109	68	45	73	69	28	35	1,004
予約率	31.8%	11.4%	9.7%	7.3%	4.5%	3.0%	4.9%	4.6%	1.9%	2.3%	7.2%

- 65歳以上を対象に予約開始した結果、6月15日からの2日間での予約率は7%
- **6月18日(金)12時から、接種券が届いているすべての府民の皆様を対象に予約を開始**
- 6月18日(金)に予約いただければ、**最短で6月19日(土)に接種可能**

※引き続き65歳以上の方も予約できます

## 【概要】

接種場所  
接種時間  
予約

マイドームおおさか(「堺筋本町駅」から徒歩6分ほか)

午前9時～午後9時(土日祝含む)

接種前日(23:59)まで可能

毎週火曜日12時に、次週の火曜日～月曜日の7日間の予約枠を公開



# 大阪版・今後の感染拡大に備えたコロナ包括支援事業（全体像）

フリップ②

u 今後の感染拡大に備え、医療提供体制を整備するため、以下のとおり支援事業を実施

方針と取組内容	支援策 計 約240億円
<p>1. 医療機能分化の推進</p> <p>➡ <b>中等症・重症一体型病院の設置</b></p>	<p>① 中等症・重症一体型病院への協力金事業【9.3億円】</p>
<p>2. 感染者急増時（災害級非常事態）に備えた更なる病床確保</p> <p>➡ 重症病床500床、軽症中等症病床3,000床の確保のため、 <b>病床整備の支援及びマンパワーを確保</b></p>	<p>① 病床整備に必要な経費に対する補助【217億円】</p> <p>② 医師のスキルアップ支援（新型コロナ治療サポートチーム）【500万円】</p> <p>③ 看護師研修（座学研修、実地研修、院内研修支援）【0.3億円】</p>
<p>3. 転院・退院の支援の強化</p> <p>➡ 病床の効率的な運用を行うため、退院基準等を満たした <b>患者の円滑な転退院の支援を強化</b></p>	<p>① 大阪府転退院サポートセンターの設置【—】</p> <p>② 転院支援マッチングシステムの運用【0.2億円】</p> <p>③ 転院支援マッチングシステム参画医療機関への支援金事業【2.3億円】</p>
<p>4. 入院待機ステーションの設置にかかる支援</p> <p>➡ 患者に酸素投与等を行うことができる <b>一時的な待機場所を設置する市町村等に対する支援</b></p>	<p>① 一時待機場所を設置する市町村等への支援【0.9億円】</p> <p>② 協力医療機関への協力金事業【0.9億円】</p>
<p>5. 宿泊療養、自宅療養・入院調整中患者における対応の充実・強化</p> <p>➡ <b>療養体制の強化を図るとともに、病状急変対応の充実</b></p>	<p>① 宿泊療養施設連携型病院への協力金事業【7.2億円】</p> <p>② 酸素濃縮器の早急な配備態勢の構築【—】</p>

# 大阪版・今後の感染拡大に備えたコロナ包括支援事業

フリップ③

- U 中等症患者と重症患者の一体的な診療を行うために一定の病床を確保する医療機関を支援
- U 病床整備に必要な医療機器・既存病室の個室化に係る経費を補助

## 1. 医療機能分化の推進

### 1-①. 中等症・重症一体型病院への協力金

開始時期：7月上旬

- 〇 中等症・重症一体型病院に対して協力金を支給
- 〇 協力金：3,000万円（1回限り）

#### 【要件】

- ・ 「中等症・重症一体型病院における確保病床数の基本的な考え方」に基づき増床を伴う確保計画を提出
- ・ 自院の看護師に対し重症対応研修を実施



<中等症・重症一体型病院における確保病床数の基本的な考え方>

中等症・重症一体型病院①	重症病床	許可病床数（一般病床）の2.0%（公立・国立）、1.0%（民間等）以上
	軽症中等症病床	重症病床数の3倍程度
中等症・重症一体型病院②	重症病床	許可病床数（一般病床）の1.5%（公立・国立）、0.75%（民間等）以上
	軽症中等症病床	重症病床数の3倍程度

## 2. 感染者急増時（災害級非常事態）に備えた更なる病床確保

### 2-①. 病床整備に必要な経費に対する補助

開始時期：7月上旬

- 〇 コロナ患者受入に必要な「既存病室を個室化する経費」を新たに補助対象に追加し、4月1日以降の病床整備費を包括的に補助（ただし、補助額は今後も引き続き運用を予定している病床の整備に要した実費相当額とし、病床区分等に応じて上限額を設定）

- ・ 重症病床：1床あたり上限2,500万円（※）
- ・ 軽症・中等症病床：1床あたり上限1,000万円

（※）重症病床を10床以上整備し、病床設置から原則2年間常時運用する場合は、1床あたり上限5,000万円

#### 【対象となる補助事例】

- U コロナ患者を受入れるために必要な医療機器
- U 多床室を個室化するために必要となった備品等



# 大阪版・今後の感染拡大に備えたコロナ包括支援事業

フリップ④

- U 新型コロナ患者への治療経験が少ない医療機関を支援するため、「大阪府新型コロナ治療サポートチーム」を設置
- U 治療経験が豊富な感染症・救急等専門医による相談対応や助言、実地研修やオンライン研修を実施
- U 今後の感染拡大に備えた重症病床の更なる確保には欠かすことのできない重症患者に対応できる看護師の拡充を図る

## 2-②. 医師のスキルアップ支援（新型コロナ治療サポートチームの設置）

開始時期：6月14日

### 大阪府新型コロナ治療サポートチーム

- 専門医の派遣による助言・相談
- 患者受入に係る実地研修
- 呼吸管理などのオンライン研修（6月15日 第一回開催済）

- 〇 受入医療機関において、医師のスキルアップや患者受入に関する不安が解消され患者受入を促進
- 〇 受入医療機関相互に顔の見える関係を構築し、協力体制を強化



## 2-③. 看護師研修（重症対応看護師の拡充）

開始時期：7月中

### 重症患者対応研修

- 〇 大阪府看護協会と連携した研修
  - ・【STEP1】座学研修（無償）
- 〇 大阪コロナ重症センターを活用した研修
  - ・【STEP2】実地研修（研修生の人件費等を補助）

大阪コロナ重症センター

中等症・重症一体型病院等



座学研修を受講した  
研修生を派遣



研修生の  
人件費相当額  
及び派遣協  
力を補助

### 院内研修支援

- 〇 「中等症・重症一体型病院指定協力金」を活用し、院内研修を実施
- 〇 院内研修の指導者は左記の座学研修を原則受講

【院内研修】

中等症・重症一体型病院



# 大阪版・今後の感染拡大に備えたコロナ包括支援事業

フリップ⑤

- ◆ 「大阪府転退院サポートセンター」を設置し、これまで実施してきた後方支援病院の確保や患者のモニタリングに加え、新たに転院支援マッチングシステムを導入し転院・搬送調整を効率的に行うなど取組みを総合的に拡充

## 3. 転院・退院の支援の強化

3-①. 大阪府転退院サポートセンターの設置、3-②. 転院支援マッチングシステムの運用、3-③. マッチングシステム参画医療機関への支援

コロナ受入病院



病院間で転院調整も実施可能 ※転院支援マッチングシステムによる検索も活用

⑥病院間での転院に係る最終調整 ⇒ ⑦搬送支援

センター設置時期：6月21日  
システム運用時期：7月上旬

後方支援病院  
(アフターコロナ)



退院基準を満たした  
患者の受入

大阪府転退院サポートセンター  
既存の転院支援チームの看護師等を増員し体制強化

### 新規の取組み

- ü 転院支援マッチングシステムの運用
- ü マッチングシステム参画病院への支援  
支援金の支給：100万円(1回限り)
- ü 民間救急、介護タクシーの活用等による搬送支援

### 既存の取組み

- 保健所と連携した退院隔離解除の促進支援
- 長期入院患者のモニタリング
- 後方支援病院の確保
- 患者受入協力金による支援

②転院・搬送調整依頼

⑤受入可能病院の通知

基準を満たした  
患者の転退院促進

長期入院者  
の情報共有

保健所

③転院調整

①受入可能情報登録

④受入可否の連絡

# 大阪版・今後の感染拡大に備えたコロナ包括支援事業

フリップ⑥

- ◆ 患者一時待機（酸素投与）場所への支援策として、入院患者待機ステーションを設置・運営する市町村等と、それに協力する医療機関へ支援する。

## 4. 入院患者待機ステーションへの支援

4-①. 設置する市町村等への支援 4-②. 協力医療機関への協力金支給

開始時期：7月上旬

### 入院患者待機ステーションを設置した市町村等への支援

※7か所（大阪市除く）

- 災害拠点病院など病院の敷地等に設置し酸素投与
- 市町村等には保健所、消防機関を含む

設置かかる初期及び運営費用の補助  
（酸素ボンベ、シーツ、毛布等）

一か所1,300万円【上限】を補助



### 協力医療機関（災害拠点病院など）への協力金支給

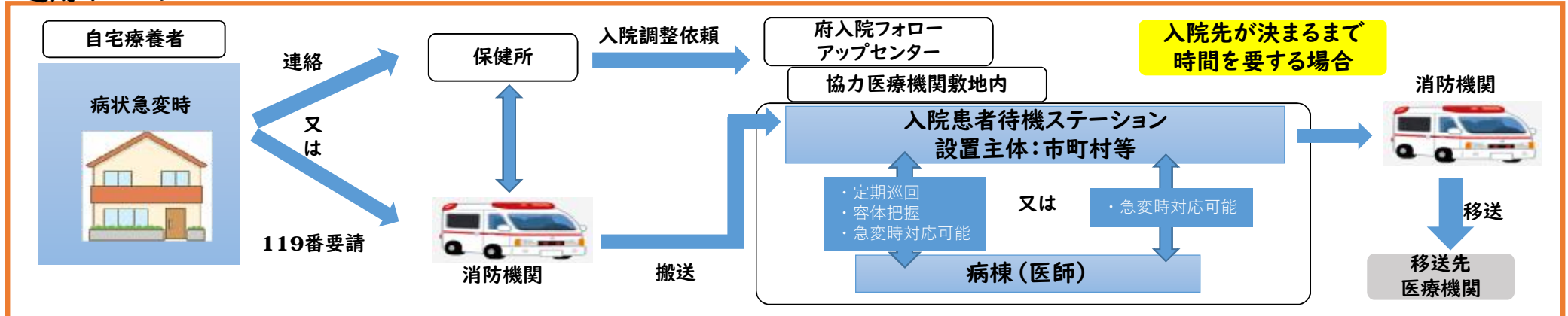
※9か所（大阪市含む）

- 病院の敷地内等に設置
- ・医師が定期的に巡回し患者の容体を把握するとともに、急変時に対応可能な体制を整えている医療機関

1,000万円を給付

- ・医師が患者急変時に対応可能な体制を整えている、医療機関
- 500万円を給付

### 運用イメージ



# 大阪版・今後の感染拡大に備えたコロナ包括支援事業

フリップ⑦

- U 宿泊療養施設における症状悪化に対応する医療機関への協力金の支給
- U 自宅療養者に対する酸素投与に備え、酸素濃縮器の早急な配備態勢を構築

## 5. 宿泊療養、自宅療養者・入院調整中患者における対応の充実・強化

### 5-①. 宿泊療養施設連携型病院への協力金の支給

開始時期：7月上旬

- 〇 宿泊療養施設において、症状が悪化した際に患者を搬送して受け入れる医療機関を確保
- 〇 宿泊療養施設近隣の医療機関を「宿泊療養施設連携型病院」として予め指定
- 〇 患者受入に応じて協力金を支給
- 〇 協力金：患者受入1件につき、20万円（医療非常事態宣言期間中）

#### 【要件】

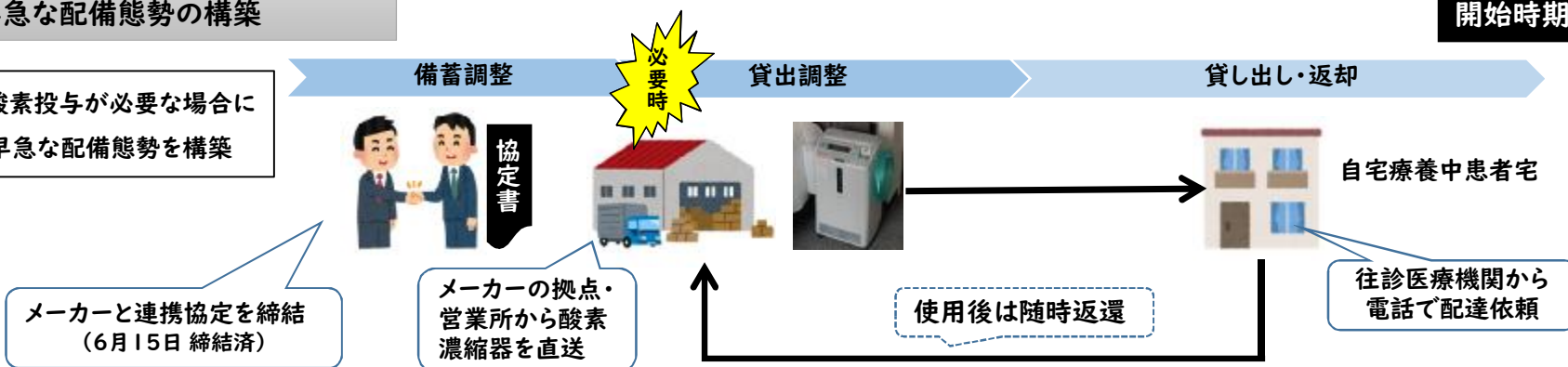
- ・ 医療非常事態宣言期間中、宿泊療養施設からの患者搬送を24時間体制で確保
- ・ 大阪府からの要請に基づき、民間救急を活用する等により宿泊療養施設連携型病院が患者の搬送を実施



### 5-②. 酸素濃縮器の早急な配備態勢の構築

開始時期：7月中

- 〇 自宅療養者に対し、酸素投与が必要な場合に備え、酸素濃縮器の早急な配備態勢を構築



# 大阪府大規模施設等協力金

フリップ⑧

緊急事態措置に係る休業要請に応じた大規模施設の運営事業者等に対し、協力金を支給

**本日6月17日（木）から受付開始** 【～7月30日（金）】

＜令和3年4月25日から5月31日までの休業等要請期間分＞

※ 期間再延長分（6/1～20）：現在の緊急事態措置終了後、募集概要を速やかに公表予定

## 申請方法

### オンライン申請

- ☞ パソコン、スマートフォン等で申請
- ☞ 大規模施設の運営事業者が、テナント事業者の同意のもと、各テナント事業者の振込先口座情報を含めて共同申請すると、テナント事業者からの申請は不要

## 支給時期

申請から2週間での支給を予定

### 【お問い合わせ】

◎まずは、協力金ホームページの **よくあるお問い合わせ（FAQ）** をご確認ください。

◎大阪府時短・大規模施設等協力金コールセンター

☎ 06-7166-9987（平日の午前9時から午後6時まで）

※6月17日（木）は午後8時まで。6月19日（土）、20日（日）は午前9時から午後6時まで



# 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会への参画

フリップ⑨

U 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会（会長：大阪府知事）では、パビリオン出展のご意向があり、参画を希望する企業・団体を募集します。

## 参画要件

推進委員会への参画を希望する企業、団体（所在地は問いません）で以下の要件を満たすこと。

- 出展参加基本構想を踏まえ、新技術、ノウハウ等に基づくパビリオン出展に関するアイデアを有し、出展企画に当該新技術やノウハウ等を提供できること。
- 出展参加基本構想を踏まえた出展にかかるア及びイの費用等を負担すること。  
ア 委員として参画する際に1,000万円以上の協賛金負担もしくは推進委員会事務局への職員の派遣。  
イ 提案内容に伴う出展が具体化した際に必要な展示等にかかる費用（協賛金）の負担。

## 募集期間

2021年7月15日（木）午後5時まで（電子メール必着）

U ホームページから申込みの様式をダウンロードいただき、資料等を添付の上、パビリオン推進委員会事務局まで電子メールで申込みください。

## 特典等

U 大阪パビリオンの展示内容を検討するワーキンググループに参加することができます。  
U 協賛規模に応じた特典を提供する予定です。

## 【お問い合わせ先・申込窓口】

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会

（事務局：大阪市経済戦略局国際博覧会推進室）

☎06-6615-3759（平日のみ）

✉: [osaka-city-expo2025@city.osaka.lg.jp](mailto:osaka-city-expo2025@city.osaka.lg.jp)

詳しくは、こちら

HP

大阪パビリオン 推進委員会



# 大阪パビリオンへの協賛

フリップ<sup>⑩</sup>

**対象者** 大阪パビリオンへの協賛を希望する企業、団体（所在地は問いません。）であること。

**協賛金額** 一口100万円以上

**募集期間** 随時

**申込み手続き** ホームページから申込みの様式をダウンロードいただき、企業・団体の概要がわかる資料等を添付して、パビリオン推進委員会事務局まで電子メールで申込みください。

**特典等** 協賛規模に応じた特典を提供する予定です。

## 【お問い合わせ先・申込窓口】

**2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会**

（事務局：大阪市経済戦略局国際博覧会推進室）

**☎06-6615-3759**（平日のみ）

**✉: [osaka-city-expo2025@city.osaka.lg.jp](mailto:osaka-city-expo2025@city.osaka.lg.jp)**

詳しくは、こちら

HP

大阪パビリオン 推進委員会

